

第2期滋賀県スポーツ推進計画に基づく施策の実施状況について

(令和3年度実績)

第2期滋賀県スポーツ推進計画の概要

平成27年12月に公布、施行した滋賀県スポーツ推進条例に基づき、平成30年度から令和4年度までの5年間の計画期間とする「第2期滋賀県スポーツ推進計画」を平成30年3月に策定した。

・目指す姿

すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、自ら進んで参画し、互いに連携・協働することを通じて、滋賀県民であることに誇りを感じて、幸福で豊かな生活を営むことができる共生社会の実現 ～スポーツで滋賀を元気に！ 滋賀の未来を創る！～

・基本方針

I スポーツの力で「豊かで健やかな生活」を創る！

II スポーツの力で「元気な地域」を創る！

III スポーツの力で「感動の滋賀」を創る！

・政策

1 生涯にわたるすべての県民のスポーツ活動の充実

2 スポーツの持つ多様な価値の共有

3 スポーツ施設・環境の充実

4 スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化

5 国体・全国障害者スポーツ大会等に向けた競技力向上と競技者の拡大

6 地域の特性を活かした大会レガシーの創出

・計画期間

平成30年度～令和4年度（5年間）

■指標の達成状況

・達成率

【(実績-基準) / (目標-基準) × 100】により算定

達成率がマイナスとなったものは「0%」、100を超えたものは「100%」としている。

・評価

滋賀県基本構想実施計画（第1期）に位置付けがある指標のうち同実施計画の年次目標を達成しているものは「A」、達成していないものは「B」、未集計は「N」として表している。ただし、同実施計画の年次目標に位置付けがない指標については、令和2年度は60%以上、令和3年度は80%以上のものを「A」、令和2年度は60%未満、令和3年度は80%未満のものを「B」としている。

評価	令和2年度	令和3年度
A：年次目標達成	3項目	4項目
B：年次目標未達成	10項目	10項目
N：未集計	3項目	2項目
合計	16項目	16項目

【基本方針Ⅱ】スポーツの力で「元気な地域」を創る！

■スポーツ施設・環境の充実（政策3）

【主な指標の状況】

指標	策定時 (H26)	R2	R3	R4 目標	達成率	評価
県内の公共スポーツ施設の利用者数	6,617,409 人	3,483,340 人	4,110,524 人	7,300,000 人以上	0%	B

【主な施策の実施状況および今後の方向性】

- 県内の公共スポーツ施設の利用者数は、前年度に比べ増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により施設の一時閉鎖や利用制限があったため、コロナ前（平成30年度：583万人）と比較して7割程度にとどまっている。
- 本県で開催する国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（以下「国スポ・障スポ大会」という。）に向け、彦根総合スポーツ公園の再整備については建築・造成工事等を実施し、滋賀アリーナ整備については建物外装工事および内装工事を行ったほか、（仮称）草津市立プールの整備については草津市に対して財政支援を行った。

（主な施設の供用開始時期）

滋賀アリーナ	令和4年12月予定
彦根総合スポーツ公園	令和5年4月予定

【今後の方向性】

国スポ・障スポ大会の競技会場としてだけでなく、県民のスポーツ・健康づくりの中核施設となるよう、周辺環境等にも配慮しながら、着実に整備を進めていく。



（彦根総合スポーツ公園整備状況（令和4年8月））



（滋賀アリーナ整備状況（令和4年8月））

■スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化（政策4）

【主な施策の実施状況および今後の方向性】

- 高い競技力を有する企業や大学等を指定（15団体25競技）して強化事業を実施し、各種全国大会においてバレーボール、バスケットボールの実業団チームや陸上競技、サッカー、ボートの大学運動部が活躍した。

また、医科学サポートスタッフを競技団体が実施する強化練習会に派遣し、滋賀県選手団のコンディション維持に貢献した。

（企業・大学・クラブ支援事業 指定団体・競技数）

策定時(H29)	H30	R元	R2	R3
12 団体	12 団体	12 団体	16 団体	15 団体
19 競技	18 競技	20 競技	26 競技	25 競技



（バスケットボール成年女子（滋賀銀行））

【今後の方向性】

成年選手の競技力の向上に向けて、引き続き、大学・企業等とスポーツ団体との連携・協働に取り組み、サポート体制を充実していく。

特に、スポーツ科学を専門とする大学との間に、競技力向上に関する包括的な協力依頼を行うことで連携を強化する。

【基本方針Ⅲ】スポーツの力で「感動の滋賀」を創る！

■国体・全国障害者スポーツ大会等に向けた競技力の向上と競技者の拡大（政策5）

【主な指標の状況】

指 標	策定時 (H29)	R2	R3	R4 目標	達成率	評価
国体総合順位	39 位	—	—	8 位以内	—	N

※滋賀県競技力向上基本計画では、令和3年3月の改定において令和4年度目標を「10位台」としている。

【主な施策の実施状況および今後の方向性】

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、三重県で開催予定であった第76回国民体育大会（本大会）および第21回全国障害者スポーツ大会の中止が決定した。

令和3年度は、「滋賀県競技力向上基本計画」で位置付けた「躍進期」の一年目として、新たに設置した「競技団体会長会議」の場で強化方針や各競技団体の重点目標を共有するなど、目標達成に向かう体制整備を推進した。

- 県内在住の小学5年生を「滋賀レイキッズ第8期生」に認定（42人）し、7期生とともに育成プログラム（のべ23回）を実施した。

ターゲットエイジの中から強化指定選手として指定証を交付（37競技 722名）し、競技ごとに強化事業を実施するとともに、令和2年度に鹿児島国体の延期により影響を受けた選手に対しても、引き続き支援を行った。



（滋賀レイキッズ第8期生認定証交付式）

また、「高校生トップアスリート支援事業」を創設し、本県の代表として活躍が期待できる選手への支援を行い、優秀な選手の県外流出の抑止に努めた。

【今後の方向性】

上位入賞が期待できる選手に対する個人指定強化対策を充実し、更なる競技力の向上を図るほか、国民スポーツ大会開催年に少年種別として出場する世代であるターゲットエイジの高校進学に当たり、競技団体や中学校との連携強化を図り、優秀な選手の県外流出の抑止に向けた取組を進める。

- 強化拠点校に優秀指導者を派遣するとともに、専門的な競技指導のできる指導者の配置を行い、継続して選手への指導ができる体制の整備を図った。

また、競技団体の指導力と組織力強化を図るため、各競技団体のプロジェクトチームリーダーを集め、専門の講師による研修会を開催した。

【今後の方向性】

引き続き強化拠点校に優秀な指導者を派遣し、拠点校の強化と魅力向上を図るほか、指導者の資質向上のため、トップレベルの指導者を積極的に招へいするとともに、将来の指導者となる優秀な選手の確保に努める。

■地域の特性を活かした大会レガシーの創出（政策6）

【主な施策の実施状況および今後の方向性】

○ 本県での国スポ・障スポ大会の開催に向けて、会場地市町の選定を進めるとともに、競技会場となる市町に対して支援を行った。

また、各種イベントにおける啓発活動に加え、広報物品、メディア、屋外広告など、マスコットキャラクター・愛称・スローガンを活用した様々な広報啓発活動を展開するとともに、イメージソングの発表、広報誌の発行開始によりさらなる発信を行い、大会開催の周知と機運醸成を図った。

【今後の方向性】

すべての競技会場地の選定に向けて調整を続けるとともに、各競技会の開催に向けた準備が円滑に進むよう、市町、競技団体に対する支援を行う。あわせて、令和4年度は滋賀県での開催が決定する節目の年であるため、これを契機として、開催決定イベントの開催、大会専用ホームページのリニューアルなどの取組を実施することにより、さらなる機運醸成が図れるよう発信していく。



（国スポ・障スポ広報誌「シャイン!!」）

第2期滋賀県スポーツ推進計画 指標の達成状況（令和3年度）

評価	項目数	指標の内容 (下線は滋賀県基本構想実施計画に位置付けがあるもの)	令和3年度 の状況	目標 令和4年度※1	達成率 (%) ※2
A	年次目標 達成	・しがスポーツ大使の就任数	48者	50者以上	91.7
		・アスリートを採用した県内企業数	46社	45社以上	100.0
		・ <u>スポーツボランティア登録者数</u> (本県ボランティア登録システム利用)	3,823人	2,000人以上 (2,000人以上)	100.0
		・総合型地域スポーツクラブで指導する 有資格スポーツ指導者数	396人	370人以上	100.0
B	年次目標 未達成	・ <u>成人の週1回以上のスポーツ実施率(男)</u>	55.2%	65%以上 (61%)	66.7
		・ <u>成人の週1回以上のスポーツ実施率(女)</u>	48.6%	65%以上 (61%)	41.8
		・子どもの1週間の運動・スポーツ実施時間 (土日を含み、平日授業を除く) 【小学5年生】(男)	527.5分	625分	0
		・子どもの1週間の運動・スポーツ実施時間 (土日を含み、平日授業を除く) 【小学5年生】(女)	313.4分	382分	0
		・県内の公共スポーツ施設の利用者数	4,110,524人	7,300,000 人以上	0
		・民間団体等の実施するスポーツイベントへの県の後援件数	96件	200件以上	0
		・スポーツ・レクリエーションを目的とする観光入込客数(暦年)	876万人	1,200万人 以上	0
		・滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数	42,174人	100,000人 以上	0
		・県障害者スポーツ大会の参加者数	562人	1,000人 以上	0
		・オリンピック・パラリンピックのホストタウンを通じて海外との交流を始めた市町数	5市	6市町以上	66.7
N	未集計	・障害者の週1回以上のスポーツ実施率	—	65%以上	—
		・国体総合順位	—	8位以内	—

※1 滋賀県基本構想実施計画に位置付けがある場合は、当計画における令和3年度の年次目標数値を()で記載。

※2 滋賀県基本構想実施計画に位置付けがない指標の達成率算定方法：

$$\frac{(\text{実績} - \text{基準})}{(\text{目標} - \text{基準})} \times 100$$

達成率がマイナスとなったものは「0%」、100を超えたものは「100%」としている。

滋賀県基本構想実施計画に位置付けがない指標の評価については、達成率80%以上のものを達成(A)、80%未満のものを未達成(B)としている。